



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 ペプチドリーム株式会社
コード番号 4587 URL <http://www.peptidream.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 規一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 関根 喜之

TEL 03-3485-7707

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	387	△17.1	△14	—	70	△64.2	47	△63.2
26年6月期第2四半期	467	—	165	—	197	—	129	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	3.51	2.94
26年6月期第2四半期	9.71	8.09

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	6,043	98.1	5,943	98.1		
26年6月期	5,999	97.7	5,863	97.7		

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 5,927百万円 26年6月期 5,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,724	110.6	631	213.7	570	157.2	367	147.4	27.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	13,653,300 株	26年6月期	13,433,300 株
27年6月期2Q	— 株	26年6月期	— 株
27年6月期2Q	13,595,257 株	26年6月期2Q	13,363,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成26年7月1日から平成26年12月31日)において、当社独自の創薬開発プラットフォーム・システムであるPDPS (Peptide Discovery Platform System) を活用した、国内外の製薬企業との共同研究開発活動は順調に進捗いたしました。

共同研究開発活動の具体的な進捗の例として、平成26年9月に、ノバルティス社と平成22年に始まり平成24年に延長した共同研究開発契約から見出された特殊環状ペプチド(ターゲットは未公開)について、後期非臨床試験に向けてさらなる最適化を行うことで合意し、契約を延長いたしました。さらに、平成26年12月には別の創薬ターゲットに係る共同研究開発契約も延長しております。

また、当社のPDPS及び特殊ペプチドの評価の高まりとして、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社は、2014年8月に米国サンフランシスコで開催された第248回「American Chemical Society National Meeting and Exposition」において、当社との共同研究開発により創製されたリードペプチドの例を用いて、分子量が500-2,000に相当する分子又は特殊ペプチドをミラモレキュール (Millamolecules) と名付け、当社のPDPSが新規特殊ペプチド創製にいかにか強力な技術であるか、また、いかにか特殊ペプチドが治療困難な疾患を対象とした標的分子に対し極めて高い潜在能力を有するかを示しました。

さらに、がんや感染症を含む多くの疾患の創薬ターゲットとして注目されているPD-1/PD-L1とCD80/PD-L1それぞれのプロテイン-プロテイン相互作用を阻害する特殊ペプチドに関する国際特許が公開されました。この特殊ペプチドは、当社にとって最初に認定されたリードペプチドであり、臨床試験をにらんだ今後の展開が期待されます。

なお、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社とは、平成25年9月にPDPSを非独占的にライセンス許諾する契約を締結しておりますが、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社への技術移転はすべて順調に終了し、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社内において特殊ペプチドの創製がすでに始まっております。

また、有名ながん遺伝子であり、創薬ターゲットとして非常に注目され、20年以上にわたって研究開発が続けられてきたにもかかわらず、有効な創薬候補物質がなかった細胞内Krasに対して、極めて強い結合能力を持ち、阻害活性を持つ特殊ペプチドに関する研究開発データが国際学会で英国メドゥイミュン/アストラゼネカ社から発表されました。これは当社の特殊ペプチドが細胞内ターゲットに対しても有効な創薬候補物質になりうるということの証左であり、今後の臨床試験への展開が期待されます。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は387,736千円(前年同四半期比80,175千円減少)、営業損失14,538千円(前年同四半期は営業利益165,340千円)、経常利益70,644千円(前年同四半期比126,844千円減少)、四半期純利益47,735千円(前年同四半期比82,008千円減少)となりました。

なお、当社の事業は単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期会計期間の総資産は6,043,755千円となり、前事業年度末と比べて44,481千円増加しました。その主な要因は、売掛金の増加56,049千円等であります。

負債は100,502千円となり、前事業年度末と比べて35,566千円減少しました。その主な要因は、未払費用の減少14,100千円、前受金の減少27,254千円等であります。

純資産は5,943,252千円となり、前事業年度末と比べて80,047千円増加しました。その主な要因は四半期純利益47,735千円の計上、資本金の増加9,618千円、資本剰余金の増加9,618千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ1,130,571千円増加し、3,330,964千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益70,644千円の計上等があったものの、売上債権の増加額56,049千円、前受金の減少額27,254千円、法人税等の支払額21,168千円等により、52,215千円の支出(前年同四半期比1,952千円の支出減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出95,777千円、有価証券の取得による支出100,000千円があったものの、有価証券の償還による収入1,300,000千円により1,100,482千円の収入(前年同四半期は3,205,198千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使による株式の発行による収入18,879千円、新株予約権の発行による収入12,970千円により、31,850千円の収入(前年同四半期比14,690千円の収入増加)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年8月12日に発表いたしました平成27年6月期の業績予想を据置といたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,400,392	4,530,964
売掛金	182,174	238,223
有価証券	2,200,000	1,000,000
繰延税金資産	20,400	12,412
その他	31,659	36,079
流動資産合計	5,834,626	5,817,679
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	8,101	20,375
工具、器具及び備品(純額)	156,405	201,966
有形固定資産合計	164,506	222,342
無形固定資産	140	3,733
固定資産合計	164,646	226,075
資産合計	5,999,273	6,043,755
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,080	13,317
未払金	10,050	18,811
未払費用	40,796	26,695
未払法人税等	25,698	19,995
前受金	43,587	16,332
その他	6,854	5,349
流動負債合計	136,068	100,502
負債合計	136,068	100,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,254	2,743,872
資本剰余金	2,730,536	2,740,154
利益剰余金	395,404	443,140
株主資本合計	5,860,196	5,927,167
新株予約権	3,009	16,085
純資産合計	5,863,205	5,943,252
負債純資産合計	5,999,273	6,043,755

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	467,912	387,736
売上原価	149,092	244,082
売上総利益	318,819	143,654
販売費及び一般管理費	153,478	158,192
営業利益又は営業損失(△)	165,340	△14,538
営業外収益		
受取利息	877	5,014
為替差益	31,359	80,291
その他	2	339
営業外収益合計	32,238	85,644
営業外費用		
株式交付費	90	120
その他	-	341
営業外費用合計	90	461
経常利益	197,488	70,644
税引前四半期純利益	197,488	70,644
法人税、住民税及び事業税	52,786	14,920
法人税等調整額	14,957	7,987
法人税等合計	67,744	22,908
四半期純利益	129,744	47,735

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	197,488	70,644
減価償却費	33,720	45,466
受取利息及び受取配当金	△877	△5,014
為替差損益(△は益)	△15,976	△50,454
株式交付費	90	120
売上債権の増減額(△は増加)	△137,598	△56,049
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,934	4,236
未払金の増減額(△は減少)	△34,265	1,383
未払費用の増減額(△は減少)	18,387	△14,100
前受金の増減額(△は減少)	△37,828	△27,254
その他	△33,220	△5,299
小計	△14,013	△36,321
利息及び配当金の受取額	251	5,274
法人税等の支払額	△40,405	△21,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,167	△52,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,200,000	-
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,000,000	△100,000
有価証券の償還による収入	-	1,300,000
有形固定資産の取得による支出	△5,198	△95,777
無形固定資産の取得による支出	-	△3,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,205,198	1,100,482
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	17,160	18,879
新株予約権の発行による収入	-	12,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,160	31,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,976	50,454
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,226,230	1,130,571
現金及び現金同等物の期首残高	5,572,450	2,200,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,346,220	3,330,964

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。